

2026年5月1日発行

第42号

令和8年

# 東都岩高会報

発行所

長野県岩村田高等学校同窓会関東支部

## 東都岩高会

〒106-0045 東京都港区麻布十番 4-3-1-1081

TEL : 03-3451-2298

Email : 7249lece@jcom.zaq.ne.jp

東京・神奈川・千葉・埼玉・茨城・群馬・栃木

## 昨年(2025年)総会 & 懇親会

6月22日 銀座ライオン7丁目店

詳細は4・5Pをご覧ください

約100名  
の参加



## 本年度 東都岩高会の総会 & 懇親会のご案内

●2026年

6月21日(日)

11:15~受付、  
11:30~14:00  
(飲食付き)

### ●グレースバリ銀座店

(中央区銀座6-13-16 銀座パセラリゾーツB3F  
/TEL03-6747-9939)

東京メトロ銀座線・日比谷線・丸ノ内線 銀座駅A5出口より徒歩3分  
(東京駅から丸ノ内線に乗り換えて銀座駅まで1駅が便利です)

東京メトロ日比谷線・都営地下鉄浅草線 東銀座駅A1出口より徒歩  
2分、パセラリゾーツ銀座店1階入口(案内看板あり)エレベーター  
で地下2階で下りてください。案内看板に従って、そのまま通路を  
進み階段を下りて地下3階の会場までお進みください。

●会費：8000円 学生(専門学校、予備校含む)は無料。

学生は下記のお問い合わせ先へ。(～6/10迄)

会費は当日受付でお支払い下さい。

●幅広い年齢の多様な同窓生が集まります。懐かしい友人や教職員との  
再会や、新たな繋がりへの巡り会いや、勉学・仕事・ときめきの出  
会いがあります。

●総会で議事は早々に、おいしい料理とお酒(未成年者はソフトドリンク)  
をいただきながら、多くの同窓生と交流できる懇親会をお楽しみく  
ださい。

●お問合せ等：tanaka-nsym@s5.dion.ne.jp

090-7171-8441 田中、080-7021-3097 小林



## ご挨拶

東都岩高会会長 小林 裕

(昭和47年卒業/港区在住)



東都岩高会会員皆様には、お元気で  
お過ごしのことと存じます。

日頃、当会活動にご協力いただき、  
誠にありがとうございます。

岩村田高等学校創立100周年記念  
事業は、昨年6月の記念誌発行をもつ  
て幕となりました。在校生、先生方、  
PTA、同窓会員の皆様には、本当に  
お疲れ様でございました。

その記念誌はその内容がとても素晴  
らしく、編纂のご苦労と完成度に感銘  
いたしました。

さて今年6月21日(日)に例年の  
会場を変え、「東都岩高会総会・懇親会」  
を開催いたします。多数の皆様のご参  
加をお願いします。

(毎年開催していた「ライオン銀座7丁  
目店6階クラシックホール」は、重  
要文化財としての保存工事のため、今  
年は歩いて約5分の「グレースバリ銀  
座店」にて開催。)

世界ではロシアによるウクライナ侵  
攻はまだ続いていて、終わりが見えま  
せん。また、イスラエルとパレスチナ  
のイスラム組織ハマスの軍事衝突も、  
停戦とはいえ、爆撃は今なお続いてま

す。また、米国による世界の国々への  
関税課税や、資源国への爆撃、大統領  
拘束も、私のようなものには、何がど  
うなっているのか良くわかりません。

日本国内では、若者の闇バイト応募  
による犯罪や、大都市圏を中心とした  
特殊詐欺被害額は増える一方です。そ  
んな中、何といても昨年の明るい話  
題は、日本で初めての女性総理大臣  
(首相)の誕生でしょう。富裕層と貧困  
層、また、若者と高齢者の考え方の相  
違が、政治に何を求めているのか。こ  
の原稿執筆中にも、衆議院選挙があり  
結果が出ました。情勢は目まぐるしく  
変わっていきませんが、私のような年金  
暮らしの高齢者も暮らしやすい、そし  
て、いつまでも社会参加できる日本に  
なって欲しいと願っております。

今回は「コスパ」と「タイパ」とい  
う今時の若者言葉を取り上げました。  
コスパ(コストパフォーマンス)とは  
費用対効果のことです。また、タイパ  
(タイムパフォーマンス)時間対効果の  
ことです。昭和生まれの私ですが、若  
い同窓生の考え方、人生の意義や目標  
などを、同窓会で語り合いたいと思っ

ています。なんでも生成AI(人工知  
能)や、チャットGPTが瞬時に疑問  
点を解決してくれる時代となりました。  
しかし、その回答には間違いも多いと  
の事です。生身の人間として、どう考  
えているのか、どう感じているのかを  
自分で考えたいです。特にこれからの  
日本を背負って立つ、岩高の若い同窓  
生とじっくり話したいものです。タイ

## ご挨拶

岩村田高校校長 奥原 靖彦



東都岩高会の皆様には、日頃より母  
校の教育活動に深いご理解とご関心を  
お寄せいただき、温かいご支援を賜っ  
ておりますことに、厚く御礼申し上げ  
ます。

本年四月一日付で岩村田高等学校に  
着任いたしました奥原と申します。佐  
久地区での勤務は初めてとなりますが、  
北に雄大な浅間山、南には蓼科山をは  
じめとする八ヶ岳連峰を望み、広大に  
開けた大地と空といった恵まれた自然  
環境に、日々深い感動を覚えておりま  
す。何よりも、素直で明るく、元気な  
挨拶を交わしてくれる岩高生とともに  
学校生活を送れることを、心から幸せ  
に感じているところでございます。

バを気にしながらも・・・  
東都岩高会の活動に対するご意見・  
ご希望も、ご遠慮なくお寄せください。  
なお今年1月の役員会において、新  
会長が全会一致で選出されました。3  
期6年の長きにわたり、大変お世話に  
なりました。誠にありがとうございます。

学校の教育活動につきましては、学  
校行事は概ね通常どおり実施され、生  
徒会活動、班活動もたいへん活発に行  
われております。運動班・文化班とも  
に、地区大会、県大会、さらには全国  
大会で活躍し、生徒たちは日々意欲的  
に活動に取り組んでいます。また、同  
窓生の皆様のお力添えをいただきなが  
ら、「天下一品講座」や「徳育会」といっ  
た本校ならではの特色ある取組を継続  
するとともに、地域と連携した探究的  
な学びの充実にも力を注いでおります。  
東都岩高会の皆様におかれましては、  
今後とも変わらぬご支援とご協力を賜  
りますよう、心よりお願い申し上げます。

## ご挨拶

岩村田高校同窓会長

中沢 朝幸  
(昭和47年卒業 / 佐久市下平尾在住)



東都岩高会会員皆様には日頃より同窓会活動にご理解・ご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。又、創立100周年記念事業開催に際しまして物心両面でお支えいただき心より感謝申し上げます。

昨年6月の同窓会総会に於きまして同窓会長を拝命しました中沢でございます。唯々責任の重さに身の引き締まる思いであります。

岩村田西本町(駅通り)に生まれ、高校卒業後、東京で10年余過ごした後に実家の印刷会社に戻りました。仕事は岩村田中心でしたので、岩高の先輩方には公私共にお世話になり社会人としてのあり様や利他の精神をご教示いただきました。

曾祖父の菊太郎が岩村田中学校設立に関わった関係で父と3人の叔母も岩高にお世話になり、東京に2人、神奈川県に1人嫁ぎ、神奈川の叔母は毎年皆様とお会いするのを楽しみに東都岩高会の総会に参加しております。

同窓会の支部活動では東都は私共のお手本です。本会では創立100周年記念事業が終了し、次の110年、又120年に繋げていく為にも活性化が必要と考え、先ず今後予想される第3次高校再編等への対応を研究する「岩

村田高校を発展させる会」を設置し、①県立高校再編状況の把握及び分析。②高校再編に伴う社会情勢の変化に対応する岩高の方向性について研究。③総会、役員会等への報告及び学習会・視察等の企画立案。

を行っております。報告内容につきましては岩高同窓会HPをご覧ください。今年皆様ご存じの通り国による高校の授業料「無償化」の影響で県教育委員会によりますと県下公立高校では平均志願倍率が1倍を切るのは7年連続で、過去20年で最低とのことでした。

昨年岩高は募集定員に足りず5名の再募集をしましたが入学は定員200名の所197名にとどまりました。今年市内3校の公立高校普通科の最終志願状況は岩高のみが定員に達し、来年以降年々中学卒業予定者が減っていく状況に、岩高も今迄以上に特色を磨き岩高ならではの魅力を発信してほしいと願っております。

同窓会会則の第3条に、本会は母校の発展を支援し、また会員相互の親睦と資質の向上を図り・・・等、とございます。選ばれる岩高を目指し役員一同努力する所存でございます。

会員皆様のご健勝と変わらぬご支援ご協力の程お願い申し上げます。

## ご挨拶

岩村田高校前校長

下島 浩伸



東都岩高会の皆様には、日頃より、母校の教育活動にご支援をいただいておりますことに厚くお礼申し上げます。創立100周年を経て、新たな歩みを始めた本校の近況をお伝えいたします。

昨年度も学校行事や各種大会等が熱中症や感染症に気を配りつつ様々計画される中、運動班、文化班ともに地区大会、県大会、全国大会で活躍する生徒の姿がありました。個人・団体の別はありますが運動班(同好会)では女子バスケット、陸上、水泳が北信越、男子ソフトテニスでは全国大会出場を果たし、文化班では演劇班が関東大会出場を果たしました。また、班(同好会)の活動とは別に、少林寺拳法、ボクシングなど北信越、全国レベルで活躍する生徒もおりました。本校では

班・同好会に所属する生徒が8割を越える中、岩高生の校内外での活躍は学校と同窓生の皆様との関係を深める話題として、嬉しく感じるところです。さて、昨年来、県立高校では各校の特色化を図るべく、中学生や地域に向けて、普通科、専門学科等の課程による区別に加え、進路の実現、技術・能力の習得、地域での学び、個性や多様性の尊重などの教育的な観点から魅力づくりを進めています。本校の特色化は初代校長である佐藤寅太郎先生の「信頼に足る人物たれ」をキャッチコピーとして、進路指導に重きを置き、

社会で活躍しているOBの話や「天下一品講座」、OBの現役大学生と語る「徳育会」など同窓生との繋がりを特色として掲げました。また生徒視点からのPRとしては、生徒会活動と探究学習が学校や地域を活性化し、多くの生徒が加入するクラブ活動と学習との両立を特色として掲げました。

特色として掲げた探究学習では、2月6日に佐久創造館で1、2年生の探究成果発表会が行われ、ステージ発表やポスター形式にまとめた探究内容を33ヶ所の展示スペースに分かれて発表が行われました。探究テーマの中には「岩村田商店街の活性化」や「認知症への対応」「病院食のデザイン」など専門職の方から聞き取りを行ったものやインターネットを活用したアンケート調査から結果を分析したものなど、テーマや探究方法も多岐に及びました。そうした生徒の活動や発表内容から感じるのは、高等学校の学びの在り方が各教科の学習に加えて、社会や地域の課題への探究的な捉えや一人ひとりの進路や価値観、自己理解や職業観などを育むキャリア教育の考えとして広まってきたことでした。

創立百周年を経て、同窓生と在校生との繋がりが深まる中、東都岩高会の皆様には、生徒の探究的な学びやキャリア教育の場面など、引き続き本校の教育活動にご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2025年

東都岩高会総会&懇親会

母校100周年にふさわしい、  
参加者約100名の大懇親会に！

6月22日 受付開始

開会 11時〜  
11時30分

銀座ライオン7丁目店 6Fクラシックホール

令和7年東都岩高会総会&懇親会は、

2025年6月22日(日)に銀座ライオン7丁目店6Fクラシックホールで開かれました。今回新卒業生は、先生方のご尽力で19名もの参加(ご招待)をいただきました。また元岩高教諭・山口通之先生(長野県伊那市在住)にご参加をお願いしたところ、快くお受けいただきました。そして、山口先生とお会いしたいと、主に昭和43年卒業の多くの当日参加者が会場に来られました。しかしながら狭い会場が満員となり会場側の強い姿勢もあり一部は申込期限に遅れた方、又折角会場迄お越しになられてもお帰りをいただいた方が多数いらっしゃいました。大変申し訳ございませんでした。今後の反省の轍です。

一方母校からは、山浦雄介教頭先生、中條泰勝先生(同窓会事務局長)、中沢朝幸同窓会長、佐々木正行前同窓会長、池田義則創立100周年記念事業事務局長にご出席いただき約100名の大懇親会となりました。一年ぶりの再会に話も弾み、改めて母校100周年を祝いました。

第一部 土屋泰顧問の司会で、「東信

濃の朝明けて〜♪」と参加者全員による校歌斉唱からスタートです。小林裕会長の挨拶に続き、柳沢正人画伯による、「日本画家を志して」と題し、全長75メートルという壮大なる大壁画にチャレンジされた経緯を中心に、ご講演をいただきました。例年通り各議案を担当の役員が説明、決議後、ご来賓よりご挨拶をいただきました。

第二部 井出袈裟衛理事の司会で、オ

ペラ歌手・井出司様ご発声による乾杯でスタート。ご来賓の挨拶に続いて、「同窓生のひろば」では、カーリングの上野美優さん、上野結生さん、山本遵さん、藤原歌劇団オペラ歌手・井出司さん、ピアノバー経営・柳沢健二郎さん、菊花園芸家・土屋和民さんのご活躍を紹介しました。そして新海博枝さんには、能村久雄先生(ゲスト)のピアノ伴奏で歌唱披露を、小林三男さんからは今年も風墨画を寄贈いただき、参加者にプレゼントされました。そして、飯塚美恵子顧問の「歳をとらない体操」と盛りだくさんの内容を

でした。

飯塚顧問の伴奏で学生歌・大浅岳を声高らかに歌い大いに盛り上がりました。

柏木慶永顧問の中締めの後、今年も元応援団長・浦山徹様のリードによる、「フレイ！フレイ！岩高」のエンルで幕となりました。

今年も総会、懇親会でお会いできるのを楽しみにしております！



来賓の皆様



小林会長挨拶



写真撮影 清水 光男顧問



● 第 2 部 ●



「同窓生のひろば」井出 司氏



司会・井出袈裟衛理事

● 第 1 部 ●

講演・柳沢正人画伯  
(昭和49年卒業)

司会・土屋 泰顧問



横山 孝江氏



土屋 和民氏



新海 博枝氏



新同窓生参加



エールで母校と全員を応援



**土屋和民さん(S39年卒)の  
「2025年菊花展」挑戦の記録**  
菊花栽培1年の追跡を経て、菊花展受賞までの足跡を辿る

東都岩高会 副会長 **荻原 明**

(昭和44年卒業) 横浜市在住  
(記録写真撮影) 荻原 明



菊花園芸歴45余年の歴史を持つ土屋和民さんは、「菊花展」での数多くの受賞歴をお持ちです。菊花づくりの実績が認められて菊花展の審査員をされるなど、「菊花展」に関しては、奥深い栽培技術を持たれております。また、地元の綾瀬市落合小学校の子供たちに毎年菊花づくりを教えるなど地域への貢献もされております。

私にとっては大先輩である土屋和民さんの「菊花展」にかける情熱に大変興味を持ち、菊花栽培の1年間を追ってみました。

**2025年菊花展の成績**

菊花の代表的な区分で花弁については、鱗状の花弁が球状に盛り上がる「厚物」、花弁が細長い管状に放射状に咲くものを「管物」といいます。また、一つの幹から3本に分け仕立てる「盆養3本立て」、7本に分け仕立てる「盆養7本立て」、更に、根元から花頂まで65cmに仕立てる「だるま作り」、45cm以下に仕立てる「福助作り」などがあります。

土屋さんが出展された3か所の菊花展の「厚物・盆養3本立て」部門は、出展数が最も多く、品評は激戦の中にあります。その中で出品された菊花のほとんどが上位受賞されるという快挙を成し遂げられました。

・「神奈川県立大船フラワーセンター菊花展」



写真①

- 1、厚物盆養3本立て部門 神奈川県知事賞 (写真①)
- 2、厚物盆養3本立て部門 優秀賞
- ・「綾瀬市菊花展」(写真②)
- 1、厚物盆養3本立て部門 優秀賞
- 2、厚物盆養3本立て部門 優良賞
- ・「寒川神社菊花展」(写真③)
- 1、厚物盆養3本立て部門 寒川神社優秀作品 神社本庁統理賞



写真②

- 2、厚物盆養3本立て部門 銀賞



写真③

**菊花園芸家へのきっかけ**

土屋和民さんが菊栽培を始めたきっかけは、岩村田高校機械科時代の恩師であった社会科の佐藤義男先生が東信地区の菊花展の会長をされており、卒業後、度々、小諸市のお宅にお伺いして菊花栽培に触れたことでした。

しばらくは、仕事も忙しく菊花栽培をわずかながら楽しむ程度でしたが、65歳の定年を機に、菊花展の会に入会し、その年に出品した菊花展で、いきなりの賞をいただくこととなり、それが出発点となりました。より上位の最優秀賞を目指して菊花栽培に磨きをか



写真④

輪の菊花に育て上げるのです。写真④

けることとなります。80歳を超えた現在では、菊花展の審査員を務めるほか、菊花展の運営に携わり、地域の方々へ菊花栽培を教えるなど、益々のご活躍です。

**「盆養3本立て」の育成記録**

【差し芽からの育苗と花芽に育てる】

3月末頃、優秀な親菊の根元から生えてくる若芽を10cm位で切り出し、2週間ほど冷蔵庫の野菜庫にて養生した後、根元に、トノコをペーストにした泥だんごをまといポットに植え込みます。15日ほどたつて発根し成長した苗を4号鉢に小鉢上げします。成長してきた菊の茎を4枚ほどの葉を残し15cmほどで摘芯します。この葉の根元から新たな芽吹きが起こります。この脇芽を大

【3本の菊枝を分岐させ3本立ての基礎をつくる】

成長した脇芽から丈夫な芽を選び、立ち上げる茎の基礎をつくります。3本が均等に分岐できる様、柔らかい針金と紐を使って整形させます。針金の形に添って3等分岐が形成され、先端の芽は横から縦に成長を始めます。

更に、同じ高さで大輪の花を咲かせるために、3本の茎の葉の根元から出ている脇芽を選んで摘芯を行います。6月中旬には、この選んだ新芽が支柱に沿って成長します。大きく成長した菊苗は9号鉢へ定植を行い、3本の支柱をセットします。写真⑤



写真⑤

【菊花の高さを揃えるため、3本の茎を均等に成長させる】

7月から9月にかけて、菊は成長を続け、菊芽の先端が常に同じ生長点になるよう観察しつつ、成長具合を見ながら成長を抑制したり、成長を早めた

り、などの工夫を行います。水分補給や追肥、更には、アブラムシなどの害虫から守るなど3本の茎が均等に成長するよう気をかけ続けるのが日課です。写真⑥



写真⑥

【菊花つぼみから、花の形を整える】

9月に入り、菊展の開催日に合わせ、日照時間の調整に入ります。日照時間が長ければ菊花の開花は遅く、シエードをかぶせて日照時間を短くすることで開花時期が早められます。つぼみの大きさから花弁が開く直前に菊花がきれいに開くよう、花弁づくり

に工夫を凝らします。写真⑦

【菊花展へ出品】

評価基準を確認しながら、枝分かれ



写真⑧

【菊花作りへのこだわり】

土屋和民さんの菊花作りにかける情熱は、土づくりから菊花の栽培総てに



写真⑦

の位置、葉の生育度、支柱や補助帯の色、菊の花弁が傷まないよう、細心の注意を払い、会場へ運ぶ準備をします。土屋和民さんの場合、3か所に出品します。特に、出品先での菊花展開催の期間での菊花の管理状況を想定しながら注意を払います。写真⑧

対して感じられることですが、特に、「土づくり」には、落ち葉集めから始まり、落ち葉を集め堆肥に、それを腐葉土として活用します。毎年の繰り返しで蓄積された独自の腐葉土は菊花栽培に最も適した基礎材料として貢献しています。

「菊栽培の土」が市販されていますが、その差ははつきりと出てきます。葉の厚みや茎の勢い、更には、菊花のつぼみの大きさや花弁の厚みに至るすべてにおいて差が生じます。

2025年の夏は過去に例のない猛暑の連続でした。温度管理や水の与え方、肥料の管理まで、自然相手に対話をしながら育て上げる、土屋和民さん独特の感性が、随所に見られました。1年を通して我が子のように育てる姿に、嘘をつかない自然との対話が、菊展での成績となつています。土屋和民さんの挑戦は留まるところを知らません。



神奈川県知事賞

# 駐在員として観る米国 (Arizona State)

## 中澤 宏友

(平成3年卒 / 米国アリゾナ州在住)



東都岩高同窓会の皆様、1991年(平成3年)卒業 中澤 宏友と申します。私の叔父、中澤 巖(現東都岩高同窓会顧問)の紹介により今回の記事を担当させていただきます。前号にて叔父の記事を拝見、叔父と話をする機

会があり岩高卒業生からは あまり聞いたことがない経歴だな、現況を同窓会報の記事にしてみてもとのメールがあり、私自身もクラスの旧友、班活動の仲間たち、岩高卒業生がどうしているのだろうかとなっていました。とで、今回の執筆依頼を受けました。はいえ、卒業してから35年の年月が経っていますが・・・

私は、学生時代、米国のCalifornia州 Pasadena City College (LA Down Town 近郊の市 Pasadena City)へ留学、卒業後、日本へ戻り半導体(フラッシュメモリー)のテスト基板検査メーカ(現Advantest)へ就職、現在は、地元佐久市を基盤としているKasahiyama(真空Pumpメーカー)の米国駐在員として、Arizona州へ駐在しています。最近、報道、新聞等で聞く機会が増えている半導体ファウンドリー(TSMC)担当として、装置ライン立ち上げ、保守、メンテナンスを主に顧客対応へあたっているとところです。

現在、アリゾナ州(Phoenix)には多くの半導体企業・サプライチェーン企業が集中、州として米国の半導体中枢(Semiconductor HQ)となっており、半導体ファウンドリー(TSMC・Intel)を中心に欧米の半導体Chip生産拠点の一角を担っています。日本でいう「KIOXIA Rapidus、JASM(TSMC)がそ



Grand Canyon (Arizona State)

れにあたります。半導体といっても様々な種類の半導体Chip(CPU/中央演算処理・GPU/画像処理・NPU/AI演算処理・APU/CPU+APU・DRAM・Flash Memory等)があるのですが、NVIDIA、AMD、Apple、Qualcommといった米国のChip回路設計メーカーが高速処理、低消費電力を目標に掲げ2nmプロセス量産Chip開発が現在も進んでいるところです。これらの半導体は、携帯電話、PC、Data Centerサーバー、車、ゲーム機、家電といった様々な製品に使われていますので、製造ラインは、フル稼働で生産を進め、24時間量産体制を敷いている状況です。日本でも車へ使用されている半導体が不足し、供給待ちとのニュースが流れています、需要に対しての供給が追いついていない状況です。TSMCにおいては、Phase1~Phase6

プロジェクトまでのFAB(先端半導体工場)が急ピッチで建設される予定ですが、最近では、Phase10以上のFABを建設するとの報道も入っている状況です。話は少し変わりますが、AI半導体(Artificial Intelligent)を用いたChat GPTを使用しアメリカ・日本でも話題【MLB LA Dodgers】について質問してみました。それだけの質問ですが、あらゆるサイトから情報を収集し、質問に関する回答を明確に答えてくれます。私自身がこの情報を集めたとしても1日はかかるものをほんの30秒ほどであらゆる情報をまとめ、収集してくれました。(これを可能にしてくれているのがNPU(AI演算処理)です。 Chat GPT について MLB LA Dodgers について調べた結果。主な選手の経歴



Chase Field (Diamond Backs)



Dodger Stadium

今後（2025年以降）の選手見通し、チーム成績予測など解説があり、●MLB LA Dodgers 創設：1883年（超老舗）本拠地：ドジャースタジアム（ロサンゼルス）球団カラー：ドジャープールー ワールドシリーズ優勝：8回（直近は2024・25年）最近のドジャースの特徴：常に優勝候補の戦力と資金力、データ分析＋育成が非常に強い、トレード&FA戦略がうまい

な情報を収集してくれるChatGPTを一度試してみてください。注）ChatGPTは、情報収集や考えを整理する際の参考として便利なツールです。示される内容は既存情報をもとにした整理や要約であり、正確性や妥当性についてはChatGPTでは責任を持っていません。利用する場合は、その特性を理解したうえでご利用ください。

私自身の紹介、現況、私感ばかりを記載してしまいましたが、最後に、この記事を作成するにあたり、岩高HPを拝見させていただきました。岩高在校生の活動内容、同窓会報、東都岩高同窓会報、運動部、文化部の活躍、卒業生の活躍など、今までOBとして知らなかったことが見つけれられたように感じます。そして私の高校時代の目標

でもあったインターハイ出場を果たしてくれたソフトテニス班の後輩の成績を目にしました。『よく頑張った、よくやってくれた』と伝えたい気持ちです。

今の時代、運動部、文化部共に私立高校が良い結果を残すような傾向が見られます。スカウト、専門的な指導者、特化した授業体制など、システムが作られているので当然ともいえるのですが、結果を残すには、本人の努力だけでなく、家族のサポート、卒業生、顧問の方々のバックアップ、アドバイスがないとどうしても、うまくいかない、ということが多々あると感じます。このようなことを、現役時代も良く考えた記憶があります。「どうしたら効率よく練習ができるのだろう、強豪高校との試合に勝てるのだろう」と。部活動に限らずですが、迷ったときは、同窓会の諸先輩方々に相談することもお勧めします。経験と蓄積された知識が後押ししてくれると思います。

私自身、Arizonaに住していますが、現在も佐久テニス協会に所属し、テニスに関わり、多くの経験、知識を学んでいます。機会がありましたら、母校の班活動へ何かお役に立てばと考えています。そして今回の記事掲載の機会を与えていただいた東都岩高同窓



Around TSMC (Silicon Desert)

会の皆様には感謝すると共に、今後共に岩高在校生・卒業生皆様の活躍を期待するばかりです。同窓会は、岩高生の応援団、サポーターとなってくれているのではないのでしょうか、と感じています。

## 東都岩高会報をきっかけに

白鳥 和明

(昭和39年卒業 / 品川区在住)



### 1、総会の役割・効果・意義

私は、東都岩高会報(第34号2018年)をきっかけに東都岩高会の総会に初参加し、その後も(コロナで中止の年を除いて)毎年参加するようになりました。

それ以来、多くの再会や新たな親睦会との出会いが生まれ、会報が人と人とを繋ぐ大きな役割を果たしていることを実感しております。

東都岩高会報は第25号くらいから、毎年届いていたように思いますが、送られてきますと私の叔父である、故白鳥 久(昭和18年卒 / ふじみ野市)の書き込みの「会員便り」や名刺、年会費、寄付納入者などのページから同年の昭和39年卒の名前を見つけ、懐かしむ程度でした。

### 2、小池喜嗣さん(昭和46年卒業)の記事

2018年発行の第34号会報を今までのようにパラパラめくっていると、何と私との交流が「岩高OBの方々

の出会い」として、小池さんの記事に載っているではありませんか：

小池さんの記事の一部ですが、大学卒業後ブリヂストン(BS)に長年勤務され、その後、BSの関連会社に再就職された会社のK社長との会話の記事の中に私との出会いが書かれています。

いきさつは次の通りです。

小池さんが再就職された会社のK社長と私は、体育会空手部の同じOB会で、月に2回、空手の練習会で毎回、顔を合わせる仲間でした。

K社長は、小池さんも私も長野県出身であることを知り、ある時、K社長が「小池さん、今も空手の練習を一緒にしている法政空手部の先輩に白鳥さんがいるけど知らないか」という質問をされたそうです。

小池さんからすれば長野県出身で空手が趣味という情報だけですから「ちよつと知りませんね」と即答されたそうです。

それでも後日、気になり品川でゴム

関連の会社を経営しているという情報から職業別名簿で手間を惜しまず調べ、私白鳥である事を突き止めてくださいました。

翌日、K社長に報告し、K社長からの電話で糸が繋がりが、今度お会いしようという約束しました。

K社長からの質問に対し、小池さんのご尽力によって生まれたこの出会いに今でも深い感謝の念を抱いています。

### \*大学時代の空手部

私は大学時代、体育会の空手部でした。卒業後も空手部OB会の行事に参加したり、学生や後輩の応援をしたりしながらOB同士の練習会にも参加してきました。

空手を通して築かれた人間関係は、年月を経ても変わらぬ支えとなり今では私の人生における大きな楽しみであり、生きがいの一つでもあります。

### 3、東都岩高会総会申し込み

記事を掲載くださった小池さんにお礼をお伝えしたく初めて「東都岩高会総会」に参加したいと思い、早速、東都岩高会報の裏ページの「総会のご案内」を見て申し込みました。

これまで総会に参加しなかった理由は、特別なきっかけもなく、自営業の仕事が忙しかった上に地域の役員活動、ゴルフの付き合い、大学の校友会、練

習を兼ねた空手部OB会の行事、また今でも定期的で開催している「品川区長野県人会」の役員会や行事など、私なりに多忙だったからです。

### 4、2018年6月 総会初参加での2つの出会い

#### \*昭和39年卒の仲間

1つは、39年卒の仲間、関本さん、井出さん、小林さんとの再会です。55年ぶりでしたが、昔の面影があり、言葉をお交わすと学生時代の記憶が一気によみがえりました。

#### \*柔道部後輩

もう一つは、柔道部の仲間との出会いでした。名札のついた席に着くなり、予期せず「白鳥先輩」と言って柔道部に所属していた荻原さん、小泉さん、安川さん、大塚さん、三井さんたちが私の周りに集まってくれました。

#### \*柔道部後輩たちとの二次会

定例の総会終了後、小泉さんから柔道部だけの二次会にお誘いいただきました。

懐かしい思い出話が次々出てきて、時間が経つことも忘れる程でした。

高校の柔道部は50年程前の出来事なのに、少し前の事のように鮮明に思い出され懐かしくもあり、また、新鮮な気持ちにもなりました。

私は先輩がいらしたら柔道で培った

礼を重んじ、武道としての挨拶をしな  
ければと思ひ皆さんに聞いてみると、  
本日の参加者では、私が一番の年長者  
で先輩はいませんでした。  
話は盛り上がり「第一回柔道部OB  
会」を開催しようということになりま  
した。皆さんにご案内するためには、  
まず名簿の作成からスタートしました。  
私の役割は39年卒の同学年の柔道部仲  
間への連絡でした。

### 5、第一回柔道部OB会開催

そして2ヶ月後の8月には、「第一  
回岩高柔道部OB会」を佐久平駅付近  
の居酒屋で佐藤先生（先輩）を囲んで  
開催いたしました。

その後「岩高柔道部OB会名簿」は  
何度か修正し、OB会を重ねる都度、  
今でも利用され仲間との親睦はより一  
層深まっています。

### 6、長野県人会連合会95周年

「品川区長野県人会」などの組織を  
束ねる「長野県人会連合会」があり、  
年に3回の大きな行事があります。

2025年は10月17日に95周年の行  
事を「アニヴェルセル表参道」で盛大  
に開催され私も「品川区長野県人会」  
の代表として参加させていただきまし  
た。

周年行事なので参加者は大勢で、と

でも華々しく執り行われました。

### \*東京小緒会へのお誘い

会場で松井会長、小林副会長が東京  
小諸会の皆さんが集うテーブルに連れ  
ていってくださり、そのテーブルの皆  
さんと挨拶をしていたところ「東京小  
諸会ふるさとのつどい」に出席してほ  
しいと誘われ、その場で参加のお約束  
をさせていただきました。

11月8日に上野公園近くの会場で開  
催され、小諸出身・小諸にゆかりのあ  
る方々が集いました。当日、小諸から  
バスで来られた「りんどう会とその仲



コカリナを演奏する小諸会の「りんどう会とその仲間たち」

間たち」十数名の皆さんによるコカリ  
ナ演奏がとても素晴らしく、心温まる  
時間を共有できたことが印象深く残っ  
ています。

### 7、品川区長野県人会

私が会長をしている「品川区長野県  
人会」の集まりでは新年会・暑気払  
い・忘年会などに数回お客様を招い  
て開催しています。

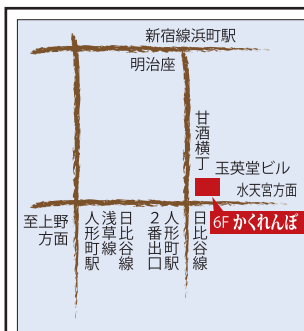
毎回、参加者全員で県歌「信濃の  
国」を唄う事が楽しみになっています。  
岩高の柔道の後輩も、都合をつけて参  
加くださっています。

### 〈あとがき〉

東都岩高会総会に参加させてい  
ただいたことよって、新しい会  
に参加する事が出来、次々と交流  
が始まり、人生を幅広く楽しく過  
ごすことが出来ています。

これまでの出来事を振り返ると、  
会報を通じて生まれた出会いが個  
人にしる、新たな会の仲間にしる、  
幅広い交流や活動へとつながり、  
人生をより豊かなものにしてけれ  
ている事を実感しています。

人との出会い、ご縁の尊さを胸  
に、今もなお、新たな交流を生み  
続けていることに深い感謝の気持  
ちを抱いています。



PIANO'S BAR  
**Kakurenbo**  
かくれんぼ

毎日がグランドピアノによる演奏(ピアノソロ・弾き語り)で  
楽しみながら、お酒と会話とともに一日の疲れを癒す

洋酒(特にシングルモルト、国産ウイスキー)  
カクテル、ビール、ラム、ノンアル……

柳沢健二郎 (昭和40年卒)

Phone 03-3249-6381



〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-3-2 玉英堂ビル6F(日曜定休)

自宅：〒121-0824 東京都足立区西伊興3-13-12 TEL 090-9807-6348

## 君とごじまで

荻原 久男

(昭和43年卒/稲城市在住)



## ●43年卒は団塊最後の世代

岩高の昭和43年卒の仲間はABCの3クラスが普通科、EFの2クラスが機械科、GHの2クラスが電気科であり、卒業生は300人ほどであろうか。昭和22年度から24年度生まれを団塊の世代と呼ぶならば、我々は団塊最後の世代である。

最近の新生児数は年間で約70万人であり、団塊の世代が産まれた当時の4分の1に減ってしまった。日本ではここ数年を異次元の少子化対策として約10兆円もの予算を投入したものの、出生率は依然として減り続けている。今年が丙午（ひのえうま）の年であり、「丙午生まれの女性は気性が激しく、嫁にも行けない、嫁いでも夫を食い殺す」などと言うとんでもない迷信を今時信じる者はいないだろうが、少子化には歯止めが掛かりそうにない。

## ●衝撃だった還暦同窓会

さて、43年卒の仲間の結束はとても固い。周りの岩高OBからも度々そのようなことを言われるので、いくつか

の集まりや旅行などを紹介してみたい。

2009年6月13日に佐久の一萬里温泉で昭和43年卒業生による還暦同窓会が開催された。この時の参加者は報告書によるとなんと109人。卒業生の3人に1人が出席、遠くは島根から大阪から駆けつけてくれた。

第一部が3人の恩師による懐かしの授業再現。G組担任の佐々木節男先生、C組担任の樋口光雄先生、A組担任の山口通之先生が登壇された。

第二部は旧交を暖め合う懇親会。舞台正面のスクリーンには在校時のアルバムが次々と映し出され、あちこちに談笑の輪ができ歓声が挙がった。終盤には応援団よろしく、学生帽を被ったK君の音頭で校歌と応援歌（大浅岳）の大合唱で大盛り上がりとなり、あつという間の3時間であった。

もうひとつ佐久でイベントがあった。岩高卒後50周年の同窓会である。還暦同窓会から9年後の18年6月9日に佐久平プラザ21で開催されている。当日は母校訪問と称してまず同窓会館に集

合し、同高職員から近況の説明を受け、また校舎内を案内していただいた。その後、会場に移動したが、さすがに還暦同窓会ほどの参加者ではなかったものの、再会を喜び合う仲間の輪が広がっていた。

## ●旧交を暖め合う旅行の数々

還暦同窓会などを契機としてお互いの交流が深まり、また大半の仲間が仕事上の現役を退く頃になると同期で集まる機会が増えた。佐久の地元の仲間と東京近辺の仲間と連絡を取り合い、交互に幹事役を担いながら旅行などを実施して来た。

私もすべてに参加出来たわけではないが、いくつかの特に印象に残っている旅行を振り返ってみたい。

まず最も思い出深いのは島根出雲の旅だ。この旅行を企画立案してくれたのは、地元旅行会社に勤務していたMさんである。19年10月30日からの2泊3日の旅、参加者は17名。午前中に羽田空港を立ち出雲空港でMさんの出迎えを受けた。松江城、小泉八雲記念館、足立美術館、由志園、日御碕、出雲大社など効率良く主要な観光名所を見事にガイドしてくれ、とても充実した旅行だった。

この年の12月には中国で新型コロナウイルスの騒ぎがあり、翌年から世界的なパンデミックに見舞われた。大半のイ

ベントや旅行は中止となり、3年以上にわたる長い自粛生活を余儀なくされたのは記憶に新しい。

同窓会の旅行が再開されたのは23年10月の「北信濃の旅」からである。奥志賀から各所の紅葉の絶景ポイントを廻り、宿泊は秋山郷の切明温泉の一軒宿だ。秘境の名の通り近くの河原をスコップで掘れば温泉が湧き出て露天風呂となる。夕食は熊、猪、鹿肉のジビエ鍋料理が出てきた。翌日は新潟中津川溪谷から清津峡の紅葉狩りを堪能した。

直近の旅行は昨年9月の「草津万座



方面の旅」である。佐久平駅に集合し、貸切バスでまずは小諸御影用水資料館に行く。この館長は一年先輩の岩高卒業生。丁寧な説明を受け浅間牧場の昼食の後、群馬の八ッ場ダムに向かう。かつての民主党政権時にダム廃止か否かで物議を醸した場所だ。

書き遅れたが我々の旅行で自慢出来るところは、ただ単に飲んだくれるだけではなく、行った先々で勉強をする研修旅行でもある点だ。これはすべての旅行に同伴していただいたA組担任だった山口通之先生の影響でもある。

ダム見学後に宿泊地である草津温泉湯畑前のホテルに到着。近くの西の河原公園の足湯や湯もみショーなどを各々が楽しんだ。翌日は万座に向かうが白根山の噴火警戒レベルが引き上げられ、草津白根火山ルートが通行止めのため、一部を変更し鬼押出しから白糸の滝に寄り、軽井沢駅で解散となった。

その他、山口先生の案内で廻った南信州の旅、ブルーライト横浜界隈、青森の鱒ヶ沢温泉と白神山地の旅（ここは所用で不参加だったのが今でも心残り）、また事あれば忘年会や新年会の数々、いずれも尽きぬ楽しい語らいの場である。

● G43会のライングループ

岩高43年卒の首都圏在住の仲間内で

は「G43会」というライングループで日常的に情報交換をしている。グループは現在18人である。

2月に一人のメンバーが「NHKで鼻面稲荷神社の初午祭を放映していたが見ましたか」とラインすると、「鼻面稲荷神社は通学路だった、部活で往復のランニングをした、神社のきつい階段でうさぎ飛びをさせられた」などが飛び交うなか、「昨日鼻面稲荷の初午祭に行ってきた。寒く雪混じりではあったが五千人の参拝者」と驚きのラインまで寄せられた。

さて、G43会の仲間も今年で喜寿を迎える。77才ともなれば少なからず各々が持病を抱え、外出や宿泊を伴う旅行などの参加は徐々に困難になる。今まで開催出来たことが奇跡かも知れない。お互いに何の遠慮もなく気の置けない仲間たち。いつまでもと願うばかりである。

最後になるが、記憶力が決して良くない私が、こうして旅行記などを書けるのは行く先々で写真を納め、アルバムにまとめ、更には冊子にして届けてくれる仲間



がいるからだ。記して感謝を伝え結びとしたい。

# 株式会社 ケイエス

取締役会長 白鳥 和明 (昭和39年卒)



■事業内容 ○工業用ゴム、プラスチック製品の加工、販売 ISO9001 認証取得  
○全抜（半抜）加工、成型加工、射出成型加工

■所在地 本社 〒140-0015 東京都品川区西大井 5-21-11 TEL03-3298-2929

# よみがえる「大浅岳」！ ―再度総会へ出席して岩高・佐久を想う―

## 山口 通之

元教諭（生徒会・社会科・社会班・卓球班顧問）  
（昭和39）47在職／伊那市在住



伊那市に住む私は、岩高が初任校であつた縁で、今でも佐久の地を訪れる機会に恵まれています。和田峠を終え、笠取峠をくだる頃から、浅間山の雄姿が次第にその姿を露わにし、塩名田を過ぎ塚原辺りにさしかかると、かつての田園景観は一変。「佐久の今昔」を痛感しながらも、口ずさみたくなるのが「大浅岳」。そういえば、昨年（令和7）だけでも、担任（卒業学年）だった諸君らと恒例の親睦の旅（岩村田、軽井沢、草津方面）、陸軍伊那飛行場の本校があつた埼玉県熊谷市へ敢えて佐久を通過して調査、秋には2011年開館の軽井沢に千住博美術館での浅間山の絵画鑑賞といったぐあいでした。特に美術館では、私の心に沈静しながら、未だ消えない浅間山・「大浅岳」（以前は校歌であつたと「百年誌」は指摘）の持つ深さをもう少し別の面からも学びたいとの思いもあつて足が佐久に向いたのです。



S43卒との恒例の集い(旅行)：軽井沢白糸の滝にて2025.9

話は変わりますが、今でも歴史や地理分野で佐久に興味、関心を持つています。次のような事実がとつさに浮かんだので、以下に羅列した次第です。  
《その1》岩高に赴任した年に新しい校歌の披露がありました。作曲は「水色のワルツ」で知られる高木東六。氏は戦時中7年余りにわたり伊那で疎開生活を送り、その傍ら地域の音楽振興に多大な貢献をしました。私は氏が作

曲した数々の曲を聴く度に、岩高校歌が思い浮かぶのです。佐久と伊那との縁の不思議さを感じます。  
《その2》五郎兵衛新田記念館の脇に、高遠石工の立派な石造物があります。その高遠石工は白田の五稜郭の石垣の制作でも良く知られています。一方で現在の伊那市の東春近と富県地区一帯の扇状地と河岸段丘上の乏水地帯への灌漑事業に、なんと江戸時代の明暦年間（1630年代）に佐久の技術者柳沢弥左衛門が開削指導にきて貢献しているのです。まさに乏水地帯への命の恩人です。江戸時代の灌漑用水事業を通して、両地域の結びつきがあつたことを忘れてはならないのです。（『北佐久郡誌第3巻』にも紹介があります）  
《その3》岩高初代の佐藤寅太郎校長の功績、遺産を改めて検証したいものです。信州教育にも多大な影響を及ぼしたからです。時代の背景や要請もあつて、負の部分もあつたにせよ、開校に託した理念は真摯に学ぶことが大切だと思えます。

紙面が尽きそうなので、以下にお願いを申し上げて「縁」を続ける糧にしたいと思います。  
・江戸時代の岩村田藩、中山道などの歴史と現在との顕著なつながり  
・佐久の地は灌漑用水の開発で魅力に富んだ場所です。それらの歴史と現状（昨年は御影用水を見学しました）

新幹線の開通など、近年の佐久の変貌は私の予想をはるかに越えています。今後の地域づくりの展望はいかに？  
・このことに関連し、景観の育成という点で顕著な取組を実践している地域事例を紹介して下さればありがたい。  
最後に、東都岩高会の常々の心遣いに感謝し、今後の発展を祈念致します。  
（2026年1月末）

### 【編集より】

山口先生は信大から新任で8年間本校で教鞭をとられた社会科の先生で、編集子も警咳を受けました。また生徒会、社会班や卓球班の顧問もされた熱血先生でしたが、現在は退職され故郷の伊那で地方史纂等の活動をされています。当時は高度成長期の後期であり、成長や冷戦の歪が顕在化し、学生運動、社会運動等も盛んだつた中、社会を客観的に捉えて主体的に考える姿勢を育てて頂いたと勝手に思っています。当然ファンも多く昨年の総会（2回目です）にご臨席頂くと聴き多くの同窓が参集しました（一部は佐久からも）。特にS43卒の結集は強く、本記事の前2頁に荻原さんが詳細を描いて下さいました。先生の今回の記事は本会の記念と思いきや無理を申し上げて書いて頂きました。

旧岩中を巡る周一と罌堂との散歩⑧  
 創設者・佐藤長洲(真太郎)  
 翁について(2)

田中 伸明  
 (昭和48年卒業 / 川口市在住)

【前号迄の概略】戦後を代表する知識人のひとりである加藤周一(T88~H20)の半自伝「羊の歌」(岩波新書)の中に、史上最多25回の当選回数の一県政の神様と云われ、また反軍国主義の軍縮論者であった尾崎罌堂(行雄・安政5~S29)の孫が旧岩中の庭球班の主将をしており、その孫との交流が描かれていた。筆者は罌堂の孫や周一及び罌堂の周辺を調べて拙文を書いてきたが、数年前から岩高百年誌の編纂に係わったので、本校設立の

創設者:佐藤長洲(真太郎)翁の年譜(教育/修行時代を除く)

年	年齢	自身の主な出来事	職/舞台	関連する出来事
M22	24	師範を卒業し北佐久高等小学校訓導、結婚	教師	望月
M25	27	本牧村(現望月)小学校の校長		
M29	31	岩村田尋常高等小学校訓導(降格)	岩村田	M27日清戦争
M33	35	同校校長へ		
M34	36	岩村田実科補習学校(後の北豊・岩村田女学校)校長を兼務		
		小諸尋常高等小学校校長に転任	小諸	
		この頃、浅間山大登山会・日露戦勝記念遊牧ヶ原北佐久運動会等実施		M37日露戦争
M39	41	北佐久教育会長に選任(全国的に初の例)		*小諸義塾開校
M42	44	小諸義塾の前身の小諸商工学校校長		M43幸徳(大逆)事件; 明科
M43	45	県視学内務部学務課長へ	県職	*師範長野・松本の設立案を潰す
M44	46	信濃教育会副会長を兼務	長野	*県内図書館の社会主義関係図書
		ロシア沿海州・満州等を視察して海外雄飛に期待		*信毎の梅死経理記事を擁護
		県立工業学校(現長野工業)の設立に取組		*田思想の師範校長排斥
T6	51	県内務部学務課長に昇格		T3第一次世界大戦
		松本高等学校(現信大)の講義に成功		大不況
T7	52	信濃教育会長に当選(以降S10迄7選)		*白神洲(自由)教育担任
T9	54	県職を依願退職して衆議院議員当選	代議士	T元~14大正デモクラシー
		この頃、信濃海外協会の設立、一府十県東教育会	東京	*教員赤化(2.4)事件
		満州大学(後に満州医科大学・新滿工科大)の設立運動		
T10	55	東洋協会朝鮮学生留学部長・台湾学生留学部長への嘱託		
T13	58	衆院解散されるも再選されず		*満蒙开拓青少年義勇軍
		岩村田中学設立の事務取扱いを命ぜられる	校長	
T15	60	町立岩村田中学校長	岩村田	
S2	61	岩村田実科女学校校長の兼務		S6満州事変
S16	75	岩村田中学が廃立となり、校長から顧問へ		太平洋戦争開始
S18	77	永眠		同戦事状況に

経緯、岩村田の歴史、創設者の佐藤長洲翁の研鑽/修学時代を書いた(1)北佐久(現岩村田)小学校訓導、本牧(現望月)小学校校長(それ以前の年譜は本誌の前号に掲載)

長洲翁はM22に当時県内の最高学府の長野師範を操行優等証書で卒業し、その年の12月にかつ夫人(五郎兵衛新田村出、旧姓柳沢)と結婚した。早速当時の校長を中心に形成された和歌山人脈を中心とする閥を排除する改革をした。3年後に本牧村外11ヶ村組合川西小学校訓導兼校長となった。27歳であり若い当時師範学校出には珍しいことではないようである。そこで意欲的な試みを幾つか行った。同行の学童を率いて碓氷峠の向こうの群馬坂本宿(現安中市松井田坂本)迄の二泊(岩村田、坂本)の修学旅行を実施し、工事中の碓氷トンネルを通過した。(宿泊旅行は北東信では初めて)。また紀元節の折、甲冑を着て元寇の講演を行った。どうやら革新的な試みも父兄等周囲には理解されず反発されたようで、M29には元の岩村田小学校の訓導へ減俸・降格となった。31歳の彼は落胆して教職を辞めることも考えたが父親に諭され農業をしながら教職を続けた。

(2)岩村田小学校校長、小諸小学校校長

M33岩村田尋常高等小学校の校長となった。県外実業教育視察をして乙種実業学校(甲種が4~5年修学のところ3年)を提唱し、翌年には岩村田実業補習学校(後の北佐久農業、岩村田高女)を設立し、兼任の訓導兼校長となった。これは県内乙種学校の嚆矢となった。追って詳しく考察するが彼は教養主義的な教育より実践的な実業教育を好んだように見える。また乙種にしたのは安価に設置出来たからであろう。

尋常高等小学校訓導兼校長、兼任小諸実科補習学校訓導兼校長へ転任した。

そこには不遇時代の伊藤長七(M10~S5)がいた。長七は諏訪で生まれ育ち諏訪中、長野師範を出て周辺の小学校で教師をしたが革新的新教育を貫いて旧守の校長等と対立し、疎まれて小諸小へ来ていた。そこで懐の深い校長の長洲翁の理解を得て新教育に取り組んだ。1年在職の後念願の東京高等師範(後の東京教育大)へ進み、その後藤新平らの推挙により新設の府立五中(現都立小石川中等校)の初代校長と抜擢された。そこで同校の伝統の自由・理化学教育・教養の礎を築き敬愛された。同校の同窓会HPを見ると未だに長七研究会が見つかる。わずかに1年の在籍であったが小諸への愛着は深く、同校の生徒を佐久に招いた農村体験、長く教え子達との交流が続き、小諸善光寺には「小諸を去る辞」の石碑もある。筆者は東京北区に長く住み都立学区内で最難関の同校の出身者と多く交わった。ある友人に言わせると「自由過ぎて勉強する気にならなかった」と。

(3)北佐久郡教育会

M13には設立されたが、当初主導権は郡が握り会長も郡長であった。M19には信濃教育会が発足すると北佐久教育会もいち早くその支会となった。明治末頃から役人等の介入を無くした教員主体とした「自主化」への動きが出てM39教師の公選で会長を決める事となり、初代会長は長洲翁であった。県下及び全国でも初の事であった。自主の源は財源にあり、長洲翁は精力的に全教職員の出し及び広い範囲からの寄付金を集め基盤を作った。

力によると推察する。

(4)小諸義塾廃校  
 創設者の木村熊二(弘化2/1845~S2)は兵庫の出石藩の藩儒の家に生まれ、江戸で超一流の学者に学び昌平塾を経て幕臣となり戊辰戦争を戦ったが、新政府への恭順は拒んだ。M3に森有礼らと共に偽名で渡米してミネソタ州のホープ大を卒業し、更にクリスチャンとなり神学校に学び牧師の資格を取って修士号も有し、在米約13年間にしてM15に帰国した。その後私塾を開いたり、最初の妻鏡子と女子教育の草分けのひとつの明治女学院を設立した。熊二が佐久に布教に来たM26商都小諸の向学の有力者に請われて義塾設立となった。彼は和漢洋に通じており兄弟・親族等にも学者や行政官が多く、官職への誘いも幾つかあった。だが、薩長嫌いから拒み続けた。彼は佐久の田舎には不相応な一級品の碩学であった。こうして義塾にはかつて教え子であった島崎藤村、丸山晩霞、三宅克己等の逸材の教師が集って、佐久では唯一の上級学校へ進めるような中等学校となった。しかし財政的には生徒からの授業料と寄付及び郡・町の補助に頼る脆弱なものであった。まだ佐久では私立学校やキリスト教に対する偏見や無理解があった。そんな中、義塾に併設した女子学習会でフェリス女学院出の後妻の派手な教育等への町民の反発が生じた。こうして小さな町で考えの異なる有力な教育者の併立となった。

発展させ町立中学との案もあったが、M36に町からの補助金が減らされ、M43義塾は小諸商工学校に変更し長洲翁が責任者となった。熊二には裏で動いた長洲翁への恨みの文が残っている。但し、小諸町役場の義塾廃校前後資料は焼却されて詳細は不明である。熊二は一時長野の教会に職を得たが、後に上京して白金にて83歳で没した。

長洲翁は抜擢され県庁学務課勤務となった。北佐久郡には14年後に本校が長洲翁の校長の下で県下13番目の中学として出来た。

## ●2025年 秋の散策報告

# 「横浜三溪園と中華街で秋を楽しむ」

11月11日(火曜日)



約半年前の計画時には開催日の11月11日は紅葉の見頃と聴いたものの、行ってみると猛暑の影響でまだまだでした(表紙上部の集合写真参照)。とはいうもののこの三溪園は明治期以降横浜で財を成した実業家が各地の重要文化財級を移転して集めた名園で奥深く、丁度園内で菊花展も開催しており心ませるものでした。

散策の後は中華街で美味しい中華の堪能と紹興酒も入った楽しい会話でした、

その後は一部有志のカラオケで横浜の夕べとなりました。



内外国特許・実用新案・意匠・商標(地域ブランド)・出願・審判・訴訟・鑑定

INTERNATIONAL PATENTS DESIGNS TRADEMARKS

# 大塚特許事務所

弁理士 大塚 忠 (昭和47年卒業)

〒105-0012 東京都港区芝大門2-12-6 ダイアパレス10階  
TEL : 03-5472-5851 FAX : 03-6430-7851 E-mail : otsuka-p@ka2.so-net.ne.jp

# 卒業生の皆さまへ 東都岩高会のご案内



（ご卒業おめでとうございます。  
東都岩高会は岩村田高等学校同窓会の関東地区（一都六県：東京、神奈川、埼玉、千葉、群馬、栃木、茨城）の支部組織で、会員（卒業生全員）の発展に資する為、各種の活動をして  
おります。主な活動は下記の通りですので、気軽に参加して頂きたくお待ちしております。）

## ①会報の発行と送付先について

- 年 1 回 5 月頃に送付して総会 & 懇親会のご案内や本会の連絡事項及び皆様のご意見・情報・作品の交歓の場となっています。皆様の参加をお待ちしています。
- つきましては**新住所が決まり次第、以下のアドレス(又はQRコード)のHPへ卒業年度、お名前、住所を記入の上、送信願います。**[www.gansou100.jp/touto](http://www.gansou100.jp/touto)



## ②総会 & 懇親会について

- 6月21日(日) 11:15 ~ 受付, 11:30 ~ 14:00 (飲食付き)
- 場所: グレースバリ銀座店 (中央区銀座6-13-16 銀座パセラリゾーツ B3F / TEL03-6747-9939)  
東京メトロ銀座線・日比谷線・丸ノ内線 銀座駅 A5 出口より徒歩 3 分 (東京駅からは丸ノ内線に乗り換えて銀座駅まで 1 駅が便利です)  
東京メトロ日比谷線・都営地下鉄浅草線 東銀座駅 A1 出口より徒歩 2 分  
パセラリゾーツ銀座店 1 階入口 (案内看板あり) エレベーターで地下 2 階まで下りてください。案内看板に従って、そのまま通路を進み階段を下りて地下 3 階の会場までお進みください。
- 申し込み先: [tanaka-nsym@s5.dion.ne.jp](mailto:tanaka-nsym@s5.dion.ne.jp)  
090-7171-8441 田中、080-7021-3097 小林
- 幅広い年齢の多様な同窓生が集まります。**懐かしい友人や教職員との再会や、新たな繋がりへの巡り会いや、勉強・仕事・ときめきの出会いがあります。**
- 総会で議事は早々に、おいしい料理とお酒 (未成年者はソフトドリンク) をいただきながら、多くの同窓生と交流できる懇親会をお楽しみください。



## ③相談室のご案内

- 故郷・肉親から離れて、初めての都会での一人暮らしは何かと心細いこととされます。皆様の抱える問題や悩み事の多くは私達熟年会員が通り過ぎて来たことと重なります。**熟年会員の経験・知識・人脈等を活用して親身に皆様の相談に乗り、一緒に考えたいと思います。気軽にお声を掛けて下さい。**

### ◆相談機能

- 主に i) キャリア・進路相談: ご希望に沿い、そのご希望について知る限りの実態と適性への見解、そのご希望を叶えるには今何をすべきか? どう取り組むべきか?
- ii) 生活相談: 住宅、パートナー、人生等

### ◆当面の相談スタッフ

現・元会社員、役員、経営者、税理士、弁理士、ジャーナリスト、元新聞記者、元国家公務員、元地方公務員、元教師等

### ◆窓口

事務局 田中伸明 (副会長、S48 年卒) 〒332-0012 埼玉県川口市本町 2-12-20-1001

携帯: 090-7171-8441 メールアドレス: [tanaka-nsym@s5.dion.ne.jp](mailto:tanaka-nsym@s5.dion.ne.jp) 尚、個人情報 は 守秘致 します。

# ささやかな日常に寄せて

## 変形性股関節症の痛みから手術へ

当たり前と思っていた日常が、そうではなかったと気づくとき、感謝が胸いっぱいにあふれていく。

望月(矢野) 廣江  
(昭和48年卒業/世田谷区在住)



### 突然にやってきた股関節の痛み

股関節に違和感を覚えたのは、すでに4年前。その日は、剣道の子供稽古の日で、私は不安を抱え道場へと向かった。ご高齢の女先生はすでにいらして、元氣な子供たちの礼儀正しい挨拶が響く。道場には活気があふれ、清々しい佇まいがある。好きだなあ、と、しみじみ思う。子供たちの一生懸命な姿には手を抜けない。無理はしないつもりが夢中になった。翌朝、私は右足をつけなくなった。

### きつと治る。一喜一憂しながら、長い年月が過ぎていった

防具を自転車に乗せて、坂道を上る。一歩、また一歩…。しんどさに引き返そうと思うが、戻るとは進むことよりきつかった。見かねた夫が、友人から電動自転車を買って勧めてくれた。乗ってみると何とも楽で感動した。

整形外科では「股関節炎」と診断され、整骨院に通い続けた。1年ほどで歩けるようになったが、稽古をすると少しずつ痛みが戻る。20年以上指導している小学生バレーも辛さが増した。いい日、悪い日、喜んだり悲しんだりで過ぎていった。

### 諦めながらも、救いを求めていた

昨年の秋頃から、私は右足を引きずり、手すりにもつかまるようになっていた。剣道の稽古はおろか、剣道形の足もでない。子供バレーのボール出しも骨がおれた。もはやアウト。来るべき時がきたのだ。長きに渡り続けられたことに感謝しよう。自分に言い聞かせ続けた。私は、股関節の手術で知られている近くの病院へ行くことにした。手術は避けたいが、このままでは悔いが残る。どうせアウトなら、全力を尽くして終わろう。



小学生バレーは26年、剣道はほぼ25年。学びの多い歲月。

### 最先端の手術。希望がふくらむ

「また、剣道ができるようになりますよ」。医師は穏やかに言葉を紡ぎます。「変形性股関節症」と診断され、手術

は迷った。術後の剣道復帰は難しいと聞いていた。体の動きにより脱臼する。正座、蹲踞も難しい。生活、スポーツの制限も多い。

「手術は、筋肉も靭帯も切りません。ですから回復は早く、日常生活上の制限、スポーツの制限もありません」

私は医学の進歩に驚いていた。脱臼の心配はないのだ。「先生に託します」、そんな言葉がふいにでた。

担当医は、小学生の時から大学まで剣道をして

らした高段者だった。恵まれたご縁に導かれ、手術日も決まった。



病室の隣室にあるリハビリ室。ゆっくり自主トレ。

### 手術が終わり、感謝があふれる

バレー部の子供たちからの寄せ書きを見ながら、つい涙ぐんでしまう。手術日の朝、弱気になりかけている自分がいた。ところが、私の憂いなど一瞬で吹き飛ばぐらいのスピード感で手術は終わった。麻酔で眠りに落ち、気がついたらベッドにいた。手術は70分程だった。夫と姉が駆けつけてくれ、私の顔を見て「がんばったね」と涙ぐんだ。

### 歩ける！それは素晴らしい奇跡

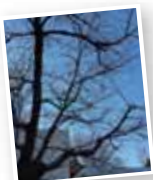
手術の翌日からリハビリが始まり、車椅子、杖のお世話になった。理学療法士の先生は、股関節周りの筋

肉の緊張を丁寧にはぐしてくださる。杖をついて真っすぐに歩いてみる。右足に体重はかけられない。体が揺れてしまう。ゆっくりなら歩ける。リハビリ2日目は正座、4日目には体重を右足、左足に移してバランスよく立つ練習を経て、車椅子はいらなくなった。5日目には階段の昇り降りも、ゆっくりできるようになる。

### 当たり前でない日常。新しい日々、とらわれず、ゆっくり歩こう

病室には同じ手術をしている方が多く、労りあい、おしゃべりも弾んだ。順番に退院し、お互いの健闘を祈って別れた。私も11日後に退院の日を迎え、夫に付き添われて病院を出た。空は青く広く、美しかった。家に帰れる喜びがあふれた。病院は眠らない街に似ていた。一晩中看護士さんは働き、明かりが灯っていた。自分の布団にくるまると、愛猫のハクがすり寄ってきた。電気を消すと深い眠りに吸い込まれた。幸せだった。

手術から2か月。自転車にも乗り、痛みのない世界の有難さが身に沁みる。心が前向き、活力も湧いてくる。けれど、痛みの日々を心は忘れない。だから、慌てず、急がず、ゆっくり歩こう。ただ在ることに感謝して、希望を抱きしめて歩いていこう。



「ママがまた普通に歩けるのを見たい。娘たちからお祝いの花束。」



### 令和 7 年東都岩高会収支報告書

(自令和 7 年 1 月 1 日至令和 7 年12月31日)

収入の部			支出の部		
科目	摘要	金額(円)	科目	摘要	金額(円)
前期より繰越		2,524,451	通信費	会報発送他	217,073
年会費収入	2000円/年 145名	294,000	印刷費	会報作成費他	264,800
広告費収入	会報広告 37名	137,000	交通費	母校同窓会他	49,200
総会費収入	総会参加費 79名	632,000	総会費		712,444
補助金収入	同窓会本部より	100,000	諸会費	本部・県連・東信	67,000
会議費収入	参加者会費	17,000	会議費	編集会議・役員会他	98,384
受取利息	郵便貯金	1,149	支払手数料	入金振替手数料	23,262
寄付金	会員寄付金	320,500	諸経費	用紙等	35,423
			予備費	(散策会への補助金)	16,750
合計		4,026,100	合計		1,484,336
			次期へ繰越		2,541,764

令和 8 年 1 月 25 日 会計(48年卒) 岡田 尚

#### 監査報告

令和 7 年度の一般会計に関する帳簿、現金預金、証拠書類等について監査を行った結果、上記一般会計は適正にして正確に処理されていることを認める。

令和 8 年 1 月 25 日 監事 (37年卒) 市村 文雄 ㊟  
監事 (37年卒) 柳澤 孝雄 ㊟

### 令和 8 年東都岩高会収支予算案

(自令和 8 年 1 月 1 日至令和 8 年12月31日)

収入の部			支出の部		
科目	摘要	金額(円)	科目	摘要	金額(円)
前期より繰越		2,541,764	通信費	会報発送他	300,000
年会費収入	2000円/年 120名	240,000	印刷費	会報他	330,000
広告費収入	会報広告 30名	120,000	交通費	母校同窓会他	120,000
総会費収入	55名	440,000	総会費	令和 8 年 6 月	600,000
補助金収入	同窓会本部より	100,000	諸会費	本部・県連・東信	70,000
会議費収入	参加者会費	20,000	会議費	編集会議・役員会他	150,000
受取利息	郵便貯金	1,000	支払手数料	入金振替手数料	40,000
寄付金	会員寄付金	250,000	諸経費	用紙等	50,000
			予備費	散策会・若手勧誘策への補助	100,000
合計		3,712,764	合計		1,660,000
			次期へ繰越		2,052,764

令和 8 年 1 月 25 日 会計(48年卒業) 岡田 尚

- 34 池田 房夫  
33 佐野 美子  
32 関根 儀秋  
31 東 恭子  
30 小林 千代子  
29 小林 好子  
28 安藤 千恵子  
27 角田 順  
26 黒沢 長次郎  
25 秋山 桂一  
24 梅澤 邦子  
23 浅沼 ふみ江  
22 清水 光男  
21 大澤 繁雄  
20 飯塚 美恵子  
19 長谷川 允子  
18 有賀 修正  
17 生駒 友臣  
16 相澤 正昭  
15 岡村 基子  
14 小井 正雄  
13 小林 央  
12 中村 浩子  
11 飯森 博  
10 佐藤 祥子  
9 中澤 巖  
8 依田 秀雄  
7 塩川 勝哉  
6 河野 仁邦  
5 金澤 清  
4 加藤 段一  
3 渡部 みつ子  
2 神津 武士  
卒年(昭和)氏名

35 松山 曉美  
34 村田 和子  
33 小山 駿二  
32 寺尾 文孝  
31 土屋 征江  
30 松山 曉美  
29 柳澤 孝雄  
28 勝侯 臣夫  
27 柳澤 孝雄  
26 中嶋 正明  
25 須江 節雄  
24 市村 文雄  
23 松田 輝雄  
22 倉澤 隆司  
21 新海 博枝  
20 中西 克江  
19 高畑 みどり  
18 山崎 浩二  
17 峯村 伊登子  
16 小平 百合子  
15 土屋 和民  
14 小林 三男  
13 井出 袈裟衛  
12 関本 好美  
11 小林 建  
10 白鳥 和明  
9 赤沼 久雄  
8 柳沢 健二  
7 荻原 英雄  
6 浦山 徹  
5 小林 正二  
4 高見 澤好男  
3 佐々木 正行  
2 秋山 良一  
1 柏木 慶永  
41 相沢 郁夫  
40 角田 出男  
39 小泉 和夫  
38 柳沢 和俊  
37 中沢 真一  
36 荒井 伸一  
35 今井 英行  
34 高橋 建  
33 小林 真佐子  
32 常田 三雄  
31 神津 静男  
30 西沢 雄介  
29 柏木 武夫  
28 嶋田 一正  
27 朝倉 武雄  
26 土屋 建司  
25 彦坂 松江  
24 市村 直幸  
23 高橋 邦美  
22 高柳 徹  
21 土屋 泰  
20 平田 静枝  
19 安川 満  
18 木内 俊雄  
17 杉澤 洋子  
16 佐山 順子  
15 荻原 久男  
14 鈴木 栄子  
13 伊藤 教宣  
12 餐場 博章  
11 荻原 明  
10 柳澤 美晴  
9 加川 啓子  
8 尾沼 武卓  
7 島村 智恵子  
6 鷺見 守夫

2025年  
年会費納入者

《注 東都岩高会の会費は、岩村田高校同窓会とは別です》



**東都岩高会 役員体制案** (2026年7月1日から2年間)

- 【会 長】** 田中 伸明(昭和48年卒)
- 【副 会 長】** 荻原 明(総務=44年卒・留任)／大塚 忠(会計=47年卒・留任)／岡田 尚(会計=48年卒・留任)
- 【監 事】** 市村 文雄(37年卒・留任)／柳澤 孝雄 (37年卒・留任)
- 【理 事】** 相澤 正昭(総務=29年卒・留任)／梅澤 邦子(総務=31年卒・留任)／長谷川允子(総務=31年卒・留任)  
 小山 駿二(総務=35年卒・留任)／井出袈裟衛(総務=39年卒・留任)／関本 好美(総務=39年卒・留任)  
 小林 正二(広報=40年卒・留任)／清原 直実(広報=42年卒・留任)／高橋 建(総務=42年卒・留任)  
 荻原 久男(総務=43年卒・留任)／柳沢 正人(総務=49年卒・留任)／栗橋 澄朋(総務=52年卒・留任)  
 中澤 俊一(総務=53年卒・新任)
- 【学年幹事】** 池田たつ子(27年卒)／榎 利一(27年卒)／柳澤 節夫(30年卒)／大澤 繁雄(31年卒)  
 渡邊 吉則(34年卒)／松山 暁美(35年卒)／角田 和之(36年卒)／勝俣 臣夫(36年卒)  
 大井 仁(37年卒)／小林 昌弘(37年卒)／須江 節雄(37年卒)／渡辺 弘子(37年卒)  
 新海 博枝(38年卒)／渡辺 善一(39年卒)／青木 茂樹(39年卒)／荻原 英雄(40年卒)  
 小泉日出男(41年卒)／中澤 眞一(42年卒)／常田 三雄(42年卒)／荒井 伸一(42年卒)  
 平田 静枝(43年卒)／山浦 一義(43年卒)／石井 正裕(45年卒)／鈴木 則夫(45年卒)  
 尾沼 卓(45年卒)／岡部 勝(46年卒)／市村 守(46年卒)／井出 洋二(47年卒)  
 岡部 正武(47年卒)／柳田 泰敬(47年卒)／小林 哲雄(48年卒)／黒澤 公人(49年卒)  
 宮田志づ子(49年卒)／石塚 秀樹(61年卒)
- 【顧 問】** 秋山良治郎(22年卒)／中澤 巖(28年卒)／中村 浩子(29年卒)／生駒 友臣(30年卒)  
 清水 光男(31年卒)／秋山 桂一(31年卒)／飯塚美恵子(31年卒)／柏木 慶永(40年卒)  
 土屋 泰(43年卒)／小林 裕(47年卒)
- 【名誉顧問】** 高橋 和久(23年卒)

**東 都 岩 高 会 会 則**

**第 1 章 総 則**

- 第 1 条** 名称  
 本会は東都岩高会と称する
- 第 2 条** 長野県岩村田高等学校同窓会の下部組織である。
- 第 3 条** 東都岩高会は相互の親睦を図るとともに、健全な会の発展に資することを目的とする。  
 年 1 回の会員による総会の開催、会報誌の発行及び会に付随した行事等を行う。同窓会本部との連携を密にし、会の発展に努める。
- 第 4 条** 東都岩高会会員資格  
 長野県岩村田高等学校 (旧制中学校、高等女学校) の卒業生であること。  
 東都岩高会の範囲 (1 都 6 県 = 東京都、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川の各県)

**第 2 章 細 則**

- 第 5 条** 会の役員構成及び運営
  - イ 会長 1 名／副会長 5 名以内
  - 会計 2 名／監事 2 名
  - 理事 20 名以内／学年幹事 50 名以内
  - 顧問 (会長経験者もしくは会に貢献があった者で、役員会が承認した者)
  - 名誉顧問 (会に顕著な貢献があった者で、役員会が承認した者)
- 第 6 条** 機関・議決
  - イ の議決を行う機関として、総会及び役員会を置く
  - ロ 総会は会員で構成し出席者の多数決をもって議事を決する
  - ハ 役員会は会長、副会長、会計、監事、理事、学年幹事で構成し、出席者の多数決をもって議事を決する  
 会長が指名した書記は審議した内容の議事録を作成する
  - ニ 総会は会長が招集し、毎年 1 回以上開催して次の事項を決議する

- (1) 年度事業報告及び決算報告
- (2) 年度事業計画及び予算
- (3) 改選時の会長の承認
- (4) その他本会の運営に関する事項
- 第 7 条** 役員  
 役員の選出・任期
  - イ 選出 会長は役員会が選出する  
 会長以外の役員は役員会の承認を得て会長が委嘱する
  - ロ 任期 7 月 1 日から 2 年とする (但し再選を妨げない)
  - ハ 役員の分担
    - 会長 会の運営
    - 副会長 会長を補佐する
    - 理事 会長・副会長を補佐し担当の任にあたる
    - 会計担当 予算の立案、会費等の収納管理、金銭の出納、財産管理
    - 総務担当 会の運営・企画進行
    - 広報担当 会報の発行、会の普及宣伝
  - 年会費 2000 円
  - ホ 会員は会の定めた方法に従い、会費を納入するものとする
- 第 8 条** その他
  - イ 会の運営は会長が主体になって役員会が行う
  - ロ 会長に不都合が生じた場合は副会長が会長の任務を代行する
  - ハ 役員改選により会長が交代した時は会則に則り、速やかに諸手続きを行うものとする
  - ニ 事務局を変更した時も上記「ハ」に準じる
  - ホ 諸届出、対外交渉等名称は「東都岩高会」を使用する
- 付 則**
  - 会設立 昭和 11 年 (1936 年) 3 月 10 日
  - この会則は平成 14 年 (2002 年) 10 月から施行
  - 改正 平成 28 年 (2016 年) 6 月 19 日から施行
  - 令和 6 年 (2024 年) 6 月 23 日から施行

東都岩高会の継続と なお一層の発展を願っています

<p>秋山桂一 (昭和31年卒業)</p> <p>〒272-0827 千葉県市川市国府台四一六一七</p>	<p>仔馬の会 主宰 美恵明 (飯塚美恵子・昭和31年卒業)</p> <p>〒396-0992 埼玉県さいたま市緑区大牧一四八〇一五 電話 〇四八八七四〇一七六 FAX 〇一七七一 携帯電話 〇九〇一四三七二一四一三 メール meismlie-p5q@kndbiglobe.jp</p>	<p>生駒友臣 (昭和30年卒業)</p> <p>〒168-0064 杉並区永福一四〇一八 電話 〇三三三二七二七二〇五</p>	<p>中村浩子 (昭和29年卒業)</p> <p>〒338-0837 さいたま市桜区田島四一三一一〇 電話・FAX 〇四八八六一一七四三 携帯電話 〇九〇一七〇〇二一四四七</p>	<p>相澤正昭 (昭和29年卒業)</p> <p>〒270-1111 我孫子市古戸二五〇一二九 電話 〇九〇一七二四〇一八八八 E-mail: izawansk@jcomhome.ne.jp</p>	<p>飯森博 (昭和28年卒業)</p> <p>〒359-0005 所沢市神米金三五八一五 A三〇五 電話 〇四一二九四二一六九六五</p>
---	---	--	--	---	--

<p>村田和子 (昭和35年卒業)</p> <p>〒320-0862 栃木県宇都宮市西原一五一一四 電話 〇九〇一三〇六五一一二二三九</p>	<p>松山暁美 (昭和35年卒業)</p> <p>〒183-0013 府中市小柳町五八一二三三 電話 〇四二一二三六五一一四七四五</p>	<p>土屋征江 (昭和35年卒業)</p> <p>〒124-0022 葛飾区奥戸二一九一三二 電話 〇三三二六九七一八三五二</p>	<p>小山駿二 (昭和35年卒業)</p> <p>〒335-0001 埼玉県蕨市北町二一九一三〇一〇五</p>	<p>長谷川允子 (昭和31年卒業)</p> <p>〒270-1514 千葉県印旛郡栄町酒直台二一八一六 電話 〇四七六一九五一一三一</p>	<p>清水光男 (昭和31年卒業)</p> <p>〒178-0025 練馬区大泉町一一二一二四 電話 〇三三三九二一一七九三九</p>
---	---	--	---	---	---

<p>柏木慶永 (昭和40年卒業)</p> <p>〒359-1145 所沢市山口五〇六一一四八一〇二二 電話 〇四一二九二八一五七七三</p>	<p>まんが日本昔ばなしチーフディレクター 風墨画家 小林三男 (昭和39年卒業)</p>	<p>井出袈裟衛 (昭和39年卒業)</p> <p>〒251-0861 神奈川県藤沢市大庭五〇七七一八</p>	<p>白鳥和明 (昭和39年卒業)</p> <p>〒140-0015 品川区西大井五二二一一一 電話 〇八〇一四三五一二〇〇九</p>	<p>柳澤孝雄 (昭和37年卒業)</p> <p>〒242-0005 神奈川県大和市西鶴間二一五一五 電話 〇四六一二七四一九五六八</p>	<p>市村文雄 (昭和37年卒業)</p> <p>〒362-0041 上尾市富士見二一六一四 電話 〇四八七七一一九三二二</p>
---	---	---	---	--	---

東都岩高会の継続と なお一層の発展を願っています

<p>小林 正二 (昭和40年卒業)</p> <p>〒204 0021 清瀬市元町一ー八七ー二〇一 電話 ○四二ー四九二ー三六一八</p>	<p>株式会社 佐々木工業 代表取締役 会長 佐々木 正行 (昭和40年卒業)</p> <p>〒385 0051 長野県佐久市中込三三六八 電話 ○二六七ー六七ー一八二〇(代)</p>	<p>高橋 建 (昭和42年卒業)</p> <p>〒365 0064 埼玉県鴻巣市赤見台三ー三六一五 電話 ○九〇ー九三一ー一八六三〇 Email:ken230518@jcom.zaq.ne.jp</p>	<p>社会福祉法人東京かたばみ会 理事長 萩原 久男 (昭和43年卒業)</p> <p>〒182 0005 東京都調布市八雲台一ー五五一 電話 ○四二ー四八四ー八五五一 FAX ○四二ー四八四ー八四一一</p>	<p>土屋泰税理士事務所 土屋 泰 (昭和43年卒業)</p> <p>〒160 0004 新宿区四谷二丁目九 サンサーラ四谷四〇二 電話 ○三ー五三二ー一五八五一</p>	<p>安川 満 (昭和43年卒業)</p> <p>〒270 0143 流山市向小金三ー二一八ー一九</p>
---	--	--	---	---	---

<p>東都岩高会の繁栄を願っています 昭和43年3月卒業年次 首都圏在住有志</p>	<p>大聖院 伊藤 教宣 (昭和44年卒業)</p> <p>〒327 0837 佐野市植野町一八五六</p>	<p>商品創造研究工房 おぎはら 萩原 明 (昭和44年卒業)</p>	<p>小林 裕<small>ゆたか</small> (昭和47年卒業)</p> <p>〒106 0045 東京都港区麻布十番四一三ー一〇八一 携帯 ○八〇ー七〇一一三〇九九七 Email:724rleece@jcom.zaq.ne.jp</p>	<p>井出 洋二 (昭和47年卒業)</p> <p>〒276 0033 千葉県八千代市八千代台南一ー四一ー一 GMコーポ二〇四 携帯 ○九〇ー四〇一六一五五五三</p>	<p>田中 伸明 (昭和48年卒業)</p> <p>〒332 0012 川口市本町二ー二二二ー一〇〇一 電話 ○九〇ー七一一八四四一 メール tanaka-nsym@55.dion.ne.jp</p>
--	--	---	--	--	--

<p>中山 郁雄 (昭和48年卒業)</p> <p>〒135 0043 東京都江東区塩浜一ー四一三ー一二九 電話 ○三ー五六三二ー三二〇七 携帯 ○八〇ー四一六六一ー四七七七 Email:hakayama_gyorui@yahoo.co.jp</p>	<p>株式会社 武蔵屋 取締役副社長 小林 哲雄 (昭和48年卒業)</p> <p>〒337 0051 埼玉県さいたま市見沼区東大宮四二九一 電話 ○四八ー六六三ー七〇三七 FAX ○四八ー六六七ー四一四四</p>	<p>岡田 尚 (昭和48年卒業)</p>	<p>日本画家 柳沢 正人 (昭和49年卒業)</p> <p>〒157 0072 世田谷区祖師谷四一九二〇 携帯 ○八〇ー四〇〇八ー三四八四 Email:masachoyag@yahoo.co.jp</p>	<p>株式会社 パスカル 代表取締役 井上 隆 (昭和52年卒業)</p> <p>〒385 0011 長野県佐久市猿久保八八ー一八 電話 ○二六七ー六六一ー九九一</p>	<p>有限会社 ランドマーク AEA認定上級エステティシヤン AEAJ認定アロマセラピアドバイザー 横山 孝江 (昭和56年卒業)</p> <p>〒170 0003 東京都豊島区駒込三二二七 電話 ○三二九一八二〇六九七 Mobile:090-7401-0284 Email:tkkae0219@gmail.com</p>
---	---	---------------------------	---	---	---

●個人情報(住所・電話・アドレス等)を省きたい方はお申し出ください。

## ◆2025年～2026年 東都岩高会活動記録◆

◎東都岩高会 △岩高同窓会(本部) ◇長野県高等学校同窓会東京連合会 □東信同窓会連合会

2025年

- 1月19日 ◎新年役員会 (ばるーん)
- 1月31日 △新年役員会・懇親会 (かつ栄)
- 2月1日 ◇新年懇親会 (アルカディア市ヶ谷)
- 2月14日 △三役会
- 3月1日 △卒業証書授与式
- 3月22日 ◎役員会 (ルノアール)
- 3月26日 □観桜会
- 4月5日 △入学式
- 4月18日 △4月春季役員会 (かつ栄)
- 5月1日 ◎会報第41号発行
- 5月29日 □総会 (新宿三平)
- 5月31日 ◎役員会 (ばるーん)
- 6月14日 △定期総会・講演会・懇親会
- 6月22日 ◎2025年総会・懇親会 (ライオン銀座七丁目店)
- 7月5日 ◇定期総会 (アルカディア市ヶ谷)
- 8月17日 △100周年記念事業実行委員会解散総会、慰労会
- 9月13日 ◎役員会 (香港屋新橋店)
- 11月7日 □秋季イベント (大河ドラマ館見学他)

11月11日 ◎2025年秋の散策 (三溪園と横浜中華街)

11月24日 ◎役員会 (ばるーん)

2026年

- 1月25日 ◎新年役員会 (ばるーん)
- 1月30日 △新年役員会・懇親会 (かつ栄)
- 2月7日 ◇新年懇親会 (アルカディア市ヶ谷)
- 3月4日 △卒業証書授与式
- 3月22日 ◎役員会 (ばるーん)
- 3月25日 □観桜会
- 3月27日 ◇親睦ゴルフ大会
- 4月7日 △入学式
- 4月17日 △4月春季役員会
- 5月1日 ◎会報第42号発行予定
- 5月21日 □総会
- 6月20日 △定期総会・講演会・懇親会
- 6月21日 ◎2026年総会・懇親会 (グレースバリ銀座店)
- 7月4日 ◇定期総会 (アルカディア市ヶ谷)
- 11月18日 ◎2026年秋の散策  
(ホームページもご参照ください。)

### ■寄稿募集

#### 読むのは楽しい。書いて活字になるのはもっと面白い!!

本誌を会員の皆様の楽しみにしたいと考えています。お気軽に記事の寄稿をお待ちしています。

- ・内 容：一切問わず自由。(但し、他者へ差し障りのある場合は修正させていただきます。)
- ・原稿及び写真：名前、在住地、卒業年度を明記して1,500文字が標準ですが、増減は構いません。ワード等のデータが望ましいですが、手書きに写真添付でも結構です。  
尚、顔写真なしの「お薦めスポット」文字数350位も大歓迎です。
- ・締 切：毎年2月末日途
- ・宛先・問合せ：〒332-0012 川口市本町2-12-20-1001 TEL.090-7171-8441、田中宛  
メール.tanaka-nsym@s5.dion.ne.jp アドレスへデータ送信がベストですが、郵送も結構です。  
尚、万が一が多すぎた場合、次回以降の掲載へ回ることもありますのでご了承下さい。

## 2026年秋の散策のご案内

### 紅葉の小石川後楽園と粋な神楽坂お茶屋の味わい

#### ●予定等

- ・11/18(水) 10:00  
JR飯田橋駅東口改札前集合(地下鉄等沢山あるのでご注意)
- ・徒歩15分 小石川後楽園(下記)西口より入場(65歳以上割引きですので証明になるもの持参)
- ・11:30 同西口再集合
- ・徒歩17分 神楽坂中腹より少し西に入った別亭鳥茶屋(下記)で昼食
- ・昼食 ~14:00 その場で解散  
坂を下ってJR・地下鉄飯田橋駅、上って地下鉄神楽坂駅
- ・各位、お茶、2次会、更に散策で秋の外濠風情もお楽しみ下さい!

#### ●費用：5000円



#### ●申し込み ~9月18日まで

田中 090-7171-8441、  
tanaka-nsym@s5.dion.ne.jp

- ・ご家族や佐久からも大歓迎です。

#### <小石川後楽園>

- ・東京ドームの西隣の後楽園の名前の由来の日本庭園です。江戸初期水戸徳川家により造られ始め、光圀(黄門)の代に完成しました。中国趣味豊かで国の特別史跡・特別名勝にも指定されています。

#### <別亭 鳥茶屋>

- ・新宿区神楽坂3-6 TEL03-3260-6661  
粋な風情を味わいながらリーズナブルに楽しめるお茶屋です。名前の通り親子丼御膳がお薦めです。